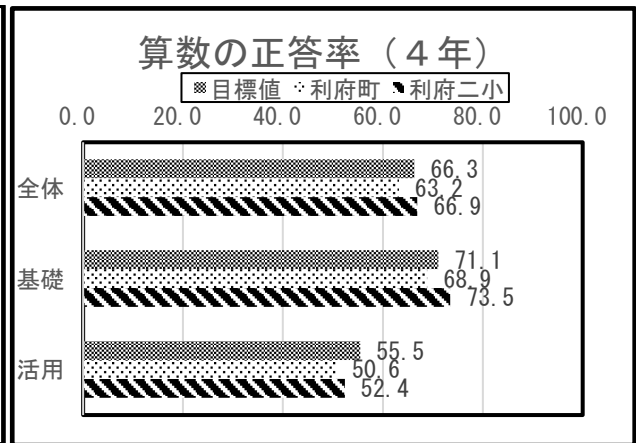
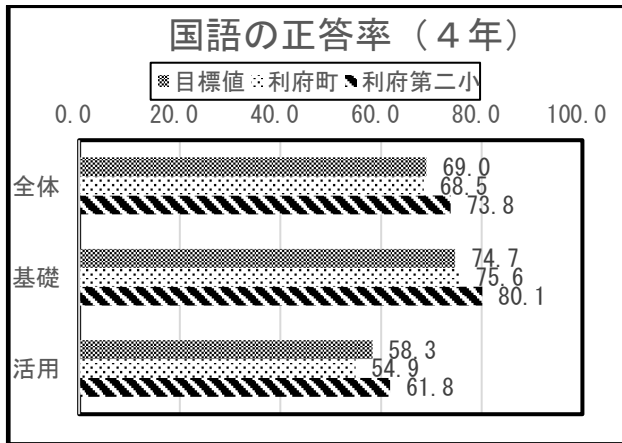


令和4年度 標準学力調査の結果とこれからの取組（4学年）

2学期末に行われた標準学力検査の結果と今後の取組についてお知らせいたします。また、児童には一人一人に検査の結果と学習のポイントが書かれた個人カードを配付いたしました。ご家庭でも学習への取り組み方等についてお子さんと話し合い、励ましの言葉を掛けていただければと思います。

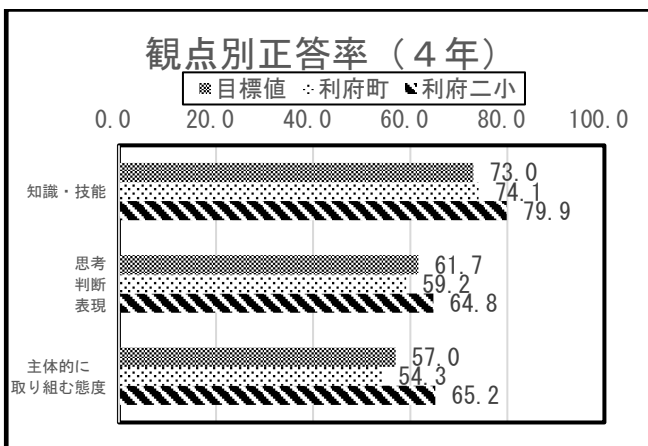
学年全体の結果から

目標値とは、データに基づいてこの数値まで到達してほしいラインを表したものです。実際の正答率とは異なりますが、およそ全国平均の数値と近いもので、結果を比較する目安となる数値です。



- ・ 国語については、全体で4.8ポイント目標値を上回り、学習内容が身に付いていることが分かりました。基礎問題で5.4ポイント、活用問題で3.5ポイント目標値を上回っています。
- ・ 算数については、全体で0.6ポイント目標値を上回り、学習内容が身に付いていることが分かりました。基礎問題で2.4ポイント目標値を上回りましたが、活用問題で3.1ポイント目標値を下回っています。

【国語】 ◎ よくできていた点 ● 課題としてあげられる点

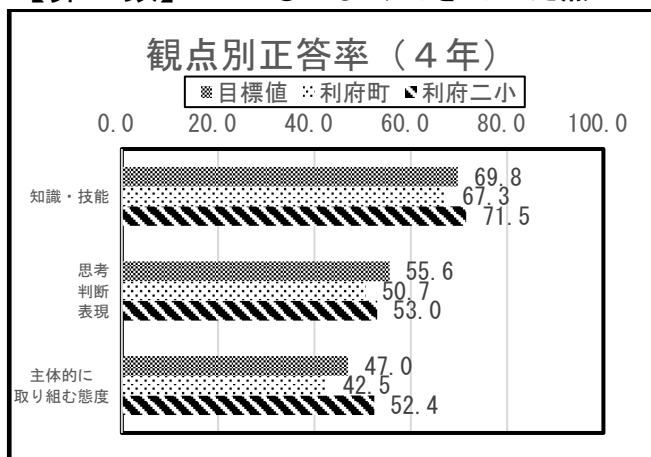


- ◎ 漢字の読み書きや言葉の意味に関する問題で、目標値より正答率が高くなっています。
- ◎ 指定された条件に基づいて、文章を書く問題で正答率が高くなっています。
- 物語文の、登場人物の心情を読み取る問題で、正答率が低くなっています。
- 説明文の読み取りにおいて、叙述を基に、段落相互の関係を捉える問題で正答率は低くなっています。

【算 数】

◎ よくできていた点

● 課題としてあげられる点



- ◎ 文章問題を解くためのわり算の立式や余りの処理についての問題で、正答率が高くなっています。
- ◎ 数量の関係を、割合を使って説明する問題で正答率が高くなっています。
- 小数のしくみや、小数を用いての単位換算の問題で正答率が低くなっています。
- 大きな数の位取りの問題や、四捨五入して以上・以下・未満の概数で表す問題の正答率が低くなっています。

今後の取組

- ☆ 国語の学習については、説明文や物語文の内容を正しく理解させるために、言葉の意味調べや音読に力を入れ、叙述に基づいて考えを書かせたり、段落相互の関係を捉えさせたりしていきます。
- ☆ 算数の学習については、引き続き授業や宿題を通して、算数の用語や定義、数の仕組みなどの理解と定着を図り、なぜそうなるのかを説明することができるように力を伸ばしていきます。
- ☆ 漢字の読み書きや計算等の力の更なる定着を図るために、宿題やスキルタイム等を利用して、継続して練習に取り組ませていきます。

個人票『あなたの結果』の見方

① 教科正答率 (%)

すべて正解の場合は100%になります。あなたの欄のお子さんの数値と目標値（到達してほしい数値）を比較しておおよその目安としてください。

右側の「児童のみなさんへ」の文章をお子さんと一緒に読んでみてください。

② 内容別の正答率

国語と算数それぞれの問題の内容別にお子さんの正答率を表しています。評価は目標値との比較により、3段階で表されています。特に▲だった内容が確実には身に付いていないことを表します。

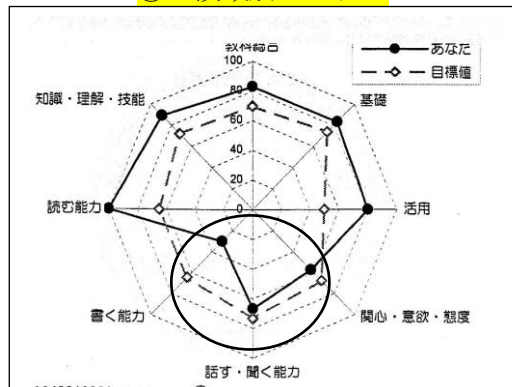
表の下にはお子さんへのアドバイスが記述されています。自主学習に取り組む際の参考にしてください。

(例) 小学校1年 さんすう

問題の内容	正答率 (%)		評価
	あなた	目標値	
20までのかず	80.0	82.5	○
たしざん	87.5	77.9	◎
ひきざん	65.4	81.4	▲
総合	78.5	79.5	○

▲の評価であるひき算の学習が確実には身に付いていないことがわかります。

③ 領域別のグラフ



『目標値』より内側の値 (○の中の部分) は目標に届かなかったことを表します。

※詳しくは、個人票の裏面をご覧ください。